



TOPICS

- ▶ごあいさつ ▶前市議会議員若尾きみえの市政報告
- ▶放射線の影響から子どもたちを守っていくために、市は調査による実態把握と情報提供を！
- ▶若尾きみえと生き生き市民会議で放射線測定グループを立ち上げ独自調査を実施

ごあいさつ

次に向けて活動中 身近なことから、地域から！

2011年4月24日の市議会議員選挙では、残念ながら議席を獲得することができませんでした。しかし、今後も市政をよくしていくために、みなさんと一緒に八王子のまちづくりに力を尽くしていきます。

6月議会が開催されました。私は、議席を失った今、議員としての発言はできませんが、今後とも、これまで2期8年議員として活動してきた経験を生かし、市民の立場目線から、市政のあり方を把握し、皆さんに情報発信させてい

ただきたいと思います。また必要に応じて、皆さんの声を市政につなぐ行政交渉も行っていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

前市議会議員 若尾 きみえ

前市議会議員若尾きみえの市政報告

◎提案してきた学童保育の第三者評価制度がついに実現しました！

昨年の12月議会では、私は、学童保育の指定管理者制度の課題を取り上げました。国が示した指定管理者制度のもとでは、選定のたびに、事業者がころころ変わる可能性もあり、信頼関係があっこそ成り立つ学童保育などのサービスについては、子どもにも保護者にも、また事業者にとっても大きなデメリットになります。優良事業者については、更新制度を設け、継続

的に学童保育のサービスが提供できるよう、提案をしてきましたが、その一方で、学童保育サービスのあり方を適正に評価するしくみづくりが必要であり、モニタリング制度や第三者評価制度の導入も提案してきました。

今回5月27日の厚生委員会では、第三者評価基準を導入することが報告されました。一歩前進です！

◎市民センターなど夜間利用制限措置が見直しに！・・・行政交渉の成果

計画停電以来、八王子市の市民センターなどでは、夜間利用制限措置がとられ、活動ができなくて困っているという声を多くの方からお聞きしてきました。そこで、私は、市に対し、他団体とともに、施設の夜間利用制限の解除を求める行政交渉を行い、理事者にも個別に申し

入れをしました。結果として、市は、夜間施設利用制限措置を見直し、輪番制で休館を交えて夜間の施設を開館する新たな体制をとることにしました。

しかし、他の自治体では、八王子市で行っているような利用制限は行っていません。

写真で見る

活動報告



◎谷戸の田んぼで行われた田植えに参加



◎八王子市環境フェスティバルに参加



◎放射線測定グループで測定調査を実施



◎多摩木材センターにて木材市場の見学

◎節電と市の公共機能の維持の両方を進めていく工夫が必要！

電力需要15%の削減をするための取り組みは極めて重要ですが、日中のピーク電力量を下げるのが、何より大切です。夜間の施設利用制限をわざわざ八王子市だけが行い、市民活動を制限する必要はないと思います。現在ある市の施設を100%稼働できないことは、公共の機能を低下させることになります。市は、

新たに太陽光パネルの設置やLED機器の導入をすることで、電力使用量の削減と公共機能の維持を同時に行っていくことが必要です。また節電については、八王子の行政だけが行っても限界があり、事業者や市民の皆さんと一緒に節電できるよう、しっかりと情報提供を行っていくことがまさに必要です。

放射線の影響から子どもたちを守っていくために、市は調査による実態把握と情報提供を！

福島第一原発の爆発事故以来、大気、水、土壌へ、また農産物や魚介類など食物に対しても、深刻な放射能汚染が広がってきています。放射線は、細胞分裂に悪い影響を与えることから、胎児や小さな赤ちゃんなど細胞分

裂が活発な小さな子どもほど、影響が心配されます。私も原発の事故発生以来、市に対し、大気の放射線量の測定を早期に行うよう求めて来ました。しかし、積極的な対応がされない状況が続いてきました。

◎八王子市でも「放射線量測定に関する請願」が採択に

放射線に対する不安の声が高まる中、「放射線量測定に関する請願」が6月議会に提出されました。大気・土壌の放射線量の定期的な測定や、給食について、可能

限り汚染されていない食材の選択と抜き取り検査の実施をし、調査結果の公開を求めるという請願内容が、全会一致で採択されたことは、良かったです。

若尾きみえと生き生き市民会議で放射線測定グループを立ち上げ、独自調査を実施

市の放射線測定調査がなかなか実施されない中、若尾きみえと生き生き市民会議では、放射線測定グループを立ち上げ、6月22日に、市内23カ所、70拠点において独自に大気放射線量の測定を実施しました。

私たちの独自調査の結果を見ると、市の測定した12カ所の大気放射線量測定値に比べ、高い値が出たところもあります。（市の調査箇所と独自調査の箇所は、重なっていません。）

現在、国や自治体の中で、統一的な測定方法が確立

されていないことから、値のばらつきがでることも予想されます。

しかし、たとえば一橋大学フェアレーバー研究所が実施した、国立市の一橋大学構内での78拠点での大気放射線量の測定値を見ると、同じ大学構内でも、測定場所によって0.038~0.246毎時マイクロシーベルトと測定値に大きな開きがあります。今回の私たちの独自調査の測定値についても、今後何らかの形で、検証していきたいと思います。

◎行政はきめ細やかに継続的な調査を実施し、市民にわかりやすく情報提供を

放射能汚染に対する不安が小さな子どもを持つ親御さんの間で広まっていますが、自治体によって、放射線の測定調査のあり方には格差があります。行政が、調査によって実態把握をしないままに問題がないと言うことは、かえって不安につながります。

八王子市としても、まず、大気については、より多くの箇所で継続的に測定を行い、土壌やさらに水についても放射線量の実態把握を明確に行うことが必要で

す。そして、特に感受性の強い子どもたちや学生など若い世代については、避けられる被曝はできるだけ避けられるよう、市民にわかりやすく情報提供をしていくことが重要です。

さらに、今こそ、脱原発と自然エネルギーの推進をし、未来の子どもたちまでもが安心して暮らせるエネルギー政策へと転換していくことが大切だと思います。

あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

若尾きみえと生き生き市民会議

〒193-0833 八王子市めじろ台3-19-14

E-mail : info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>  若尾きみえ

若尾きみえプロフィール▶1964年岡山県生まれ、岡山大学教育学部卒業 ▶職歴／岡山市立幼稚園にて教諭、結婚を機に退職後、仙台市、富山市にて英会話講師 ▶活動歴／八王子市環境基本条例制定に向けて活動、八王子市ゆめおり市民会議環境分科会メンバー、八王子市西南部環境市民会議会員、2003年市議会議員初当選後、市議として2期活動、めじろ台を起点に高齢者福祉・医療問題に取り組む